「自分から 自分で せいいっぱい」自分らしく輝くこどもを目指して

Rainbow

令和 8年　4月　須坂市立須坂支援学校　学校だよりNo77

「ご入学・進級おめでとうございます」
令和８年度の須坂市立須坂支援学校がスタートしました。

４月７日（火）、満開の桜咲く中、小学部１年生４名、中学部１年生６名を新たに迎え、全校児童生徒４１名、職員４１名で、令和８年度の須坂市立須坂支援学校がスタートしました。

入学式＜新入生保護者の会＞ 水倉美和子 校長先生のお話から

暖かな春の日差しに、桜のつぼみが膨らみ始め、ここ須坂の地にも、春の訪れを感じるようになりました。

改めまして、新入生保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

どんなときにも寄り添い、大事に慈しんでお育ていただいたお子様が、今日のこの佳き日を迎えられましたこと、感慨もひとしおのことと存じます。

保護者の皆様のこれまでのご苦労に敬意を表すと共に、入学のお祝いを申し上げます。保護者の皆様が、大事にお育ていただいたお子様を、本日、確かにお預かりいたしました。

須坂支援学校は、「障がいのある子どもも　ない子どもも、地域の子どもは地域で育てる」という地域の皆様と、須坂市の熱い思いが形となって、長野県で唯一の市立の支援学校として須坂小学校の中に開校し、十六年目を迎えます。

須坂小学校と共にある校舎、地域の中で学びながら、共生社会を主体的に生きる確かな力が育つよう、また、一人一人の個性が輝き、どの子も「今日に満足し、明日を楽しみに待つ」学校となるよう、教職員が心を一つに、精一杯取り組んでまいります。そして、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様と共に力を合わせ、学校教育目標として掲げている「『自分から　自分で　せいいっぱい』自分らしく輝く子ども、共生社会を主体的に生きる子ども」の具現を目指したいと考えております。保護者の皆様のいっそうのお力添えをよろしくお願いいたします。

文部科学省では、障害のある児童生徒の学びの場の連続性を高めるため、小中高等学校のいずれかと特別支援学校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営のモデル研究に一昨年度より取り組み始めました。須坂支援学校と須坂小学校は、こうした研究が始まる十年以上も前から、既に特別支援学校と小学校を一体的に運営する環境ができ、実践を進めてきています。二校が共にあることを誇りにし、全国に先駆けて、障害のある子もない子も共に育つ、質の高い実践をしていきたいと考えております。須坂支援学校と須坂小学校の子どもたちが紡ぐ日々の営みが、我が国における共生社会の実現の糸口になるものと思います。そういった意味でも本校の子どもたちは、未来をつくる大切な子どもたちです。保護者の皆様と、しっかりと手を携えて、子どもたちの「今と、将来の豊かな生活」をつくってまいりたいと思います。＜後略＞

令和８年度職員組織の紹介

校長：水倉美和子　　教頭：滝　雅行

	クラス	担任	児童生徒支援員
小学部	そら		
	ほし		
	はな		
	つき		
	にじ		
中学	みすず A		
	みすず B		

ホームページ上では、学級担任等の氏名を削除して掲載しております。ご理解のほど、よろしくお願いします。

特別支援教育コーディネーター：　　教育相談：

巡回相談：　　養護教諭：　　事務：

図書館司書：　　教員業務支援員：　　管理技術員：

＜令和８年度新任職員＞

氏　名	前任校	氏　名	前任校
		※県立特別支援学校は４月から〇〇支援学校と名称変更	

４月１５日(水)小学校・支援学校合同避難訓練の様子

新年度が始まってすぐの避難訓練でしたが、落ち着いて校庭へ避難する姿が見られました。消防署の方からは、静かに、短時間で避難したことを褒めていただき、校長先生からは、自分の命を守ることが大切とお話がありました。今月、県北部を震源とする地震がありました。大切な命を守るために、日頃の備えと訓練を積み重ね、安心・安全な学校づくりを推進してまいります。

【年間行事計画の訂正】

年度当初に配付いたしました「年間行事計画」につきまして、6/5(金)運動会前日準備のため、「小学部 １３ 時下校」を記載しておりませんでした。お詫び申し上げますとともに、追記をお願いいたします。なお、中学部は通常通り １５ 時下校となります。